

「遠山椿吉記念 食と環境の科学賞」募集

6 月 30 日締切で、食品の安全、感染症、生活環境衛生に関する研究論文を公募
副賞賞金 100 万円を贈呈

財団法人 東京顕微鏡院

医療法人社団 こころとからだの元氣プラザ

「遠山椿吉記念 食と環境の科学賞」募集について：

今年度の重点課題は、食品の安全、感染症、生活環境衛生に関わる研究です。

食品の安全 たとえば、残留化学物質、天然有毒・有害物質、食品添加物、食品アレルギー、器具・容器包装及び食品やヒト媒介微生物に関する調査研究やこれらの分析法の開発、食品中の放射能汚染など、食品の安全に関わるもの など

生活環境衛生 たとえば、シックハウス、アスベストやダニ、カビなど室内環境、ビル衛生、飲料水の安全性、水と感染症の問題 など

- * 対 象：日本を拠点に活動する個人の研究者または研究グループ
- * 応募書類：所定の応募・推薦用紙、受賞候補者略歴、業績一覧、原著論文
- * 応募期間：平成 24 年 4 月 1 日より 6 月 30 日（消印有効）
- * 副 賞：賞金 100 万円

※この 5 年間に関連学会で発表された原著論文、または、それに準ずる活動報告書。

※遠山椿吉賞選考委員会において論文を選考の上、1 件を採択し、10 月に発表します。授賞式および記念講演、レセプションは、平成 25 年 2 月 5 日(火)に開催の予定。

詳しくは、財団法人東京顕微鏡院ホームページ <http://www.kenko-kenbi.or.jp/> をご覧ください。

本賞の趣旨：

日本の公衆衛生において、人びとの危険を除き、命を守るために、先駆的かつグローバルな視点で、地道に社会への貢献を追求する研究者（個人および研究グループ）を顕彰する賞と位置づけています。創業者生誕 150 年を記念し、平成 20 年に創設。

遠山椿吉とは：

遠山椿吉は、明治時代に、日本で初めて臨床検査の民間専門機関「東京顕微鏡院」を創立し、人々のいのちを守るため公衆衛生に力を尽くした細菌学者・医学博士。初代東京市衛生試験所所長を兼任し、東京に安全な水道水の供給を実現して伝染病予防に努め、予防医療を提唱し健康診査や衛生指導を実施しました。

臨床検査、飲料水等の検査、顕微鏡技術者養成、顕微鏡検定、学会誌発行などを展開するとともに、市民に対する啓発活動に努めました。

明治 41 年ロベルト・コッホ博士来日の折は、コッホ博士、北里柴三郎博士を招いて「生花の会」を催し、共にひと時を過ごしています。

報道機関からのお問い合わせ先：

財団法人東京顕微鏡院 公益事業室 担当 水戸、三橋（みつはし）、

TEL:03-5210-6651 メール：mito@kenko-kenbi.or.jp

ホームページ：http://www.kenko-kenbi.or.jp/

http://www.genkiplaza.or.jp/

